福祉人材センターキャリア支援員　マッチング事例

相談者	男性　　60代　　無職　　（県央）
相談場所	☐ 定期相談　　☑ 臨時相談
相談内容	☑ 介護職の経験がなく不安 ☐ 子育てとの両立が不安 ☐ ブランクがあり不安 ☐ 資格取得について ☑ しごと体験、施設見学について ☐ 応募先事業所について ☐ 勤務時間に制限がある　（理由：　　） ☐ 通勤手段に制限がある　（理由：　　） ☐ その他（　　）
所有資格	
福祉職の経験年数	☐ あり（　　年） （　　年） （　　年） ☑ なし
相談者の希望	①種別／　　②職種／ ③勤務形態／　　④勤務時間・日数／ ⑤賃金／ ⑥夜勤／ ☐ 可　　☑ 不可（理由：介護が必要な母親の面倒を見るため。　　） ⑦その他（　　）
イベントへの参加状況	
体験・見学の実施状況	☑ しごと体験　　☑ 施設見学（☐ 支援員同行　　☑ 相談者のみ） ☐ 実施なし
支援内容（キャリア支援員）	○首都圏で長年経営者として就労。60才を機に高齢の母親の住む郷里へ戻る。 ○農林業など就労先を検討したが、母親の利用しているデイサービスの職員の働きぶりをみて、自分でも何かできないか相談を希望。 ○「介護のしごと体験」を希望したため、コーディネートを行い、3日間の体験を実施。 ○他に求人のあった施設を見学した。
（事業所）	○しごと体験を実施した施設は、基本的に60歳定年。在職中の職員が60歳に達した場合は65歳まで継続雇用している。 ○3日間の体験を実施したものの、適性が合わず、採用意欲は低かった。
結果	採用となったサービス種別・職種（　　） ○本人は、送迎の運転業務などを希望したものの、既に運転業務に従事する職員がいるため希望職種に求人はなかった。 ○介護職は「介護のしごと体験」を実施したものの、無資格・未経験だったため、適性が合わず、施設側でも採用意識が高まらなかった。 ○福祉人材センターでの支援の範ちゅうについて了承してもらい、相談終了した。

福祉人材センターキャリア支援員　マッチング事例

相談者	女性　　30代　　無職　　（沿岸）
相談場所	☑ 定期相談　　☐ 臨時相談
相談内容	☑ 介護職の経験がなく不安 ☐ 子育てとの両立が不安 ☐ ブランクがあり不安 ☐ 資格取得について ☐ しごと体験、施設見学について ☐ 応募先事業所について ☐ 勤務時間に制限がある　（理由：　　） ☐ 通勤手段に制限がある　（理由：　　） ☑ その他（初任者研修の資格を活かし働きたい　　）
所有資格	介護職員初任者研修
福祉職の経験年数	☐ あり（　　年） （　　年） （　　年） ☑ なし
相談者の希望	①種別／ デイサービス　　②職種／ 介護職員 ③勤務形態／ 正職員　　④勤務時間・日数／　フルタイム ⑤賃金／（基本給）月12 万円 ⑥夜勤／ ☐ 可　　☑　不可（理由：初めての職種で今の時点では無理　　） ⑦その他（　　）
イベントへの参加状況	介護のしごと就労支援講座 介護のしごと再就職支援講座
体験・見学の実施状況	☑ しごと体験　　☑ 施設見学（☑ 支援員同行　　☐ 相談者のみ） ☐ 実施なし
支援内容（キャリア支援員）	○各マッチング支援事業の活用。 ・就労ワンポイント講座、再就職支援講座、合同面談会(地域就職フェア)いずれの事業にも参加。 相談時の印象からワンポイント講座参加と、しごと体験の活用を強く勧めた。(自身に適性を見極めてもらうため) ○施設同行見学(2か所)
（事業所）	○同行見学時、事業所や業務内容について担当者から説明。 ○介護の職場「しごと体験」の受入れ。
結果	採用となったサービス種別・職種（　　デイサービス　　介護職員　　） ○採用後の勤務状況から管理者が判断し、勤務時間の調整(縮小)を図った。コミュニケーションが取れない、自分の判断で行動してしまう、メモを取らない等で何回も同じ事を繰返してしまうことが原因で　約2ヶ月で退職。その後、連絡入れるも本人からは連絡来ず、支援終了。